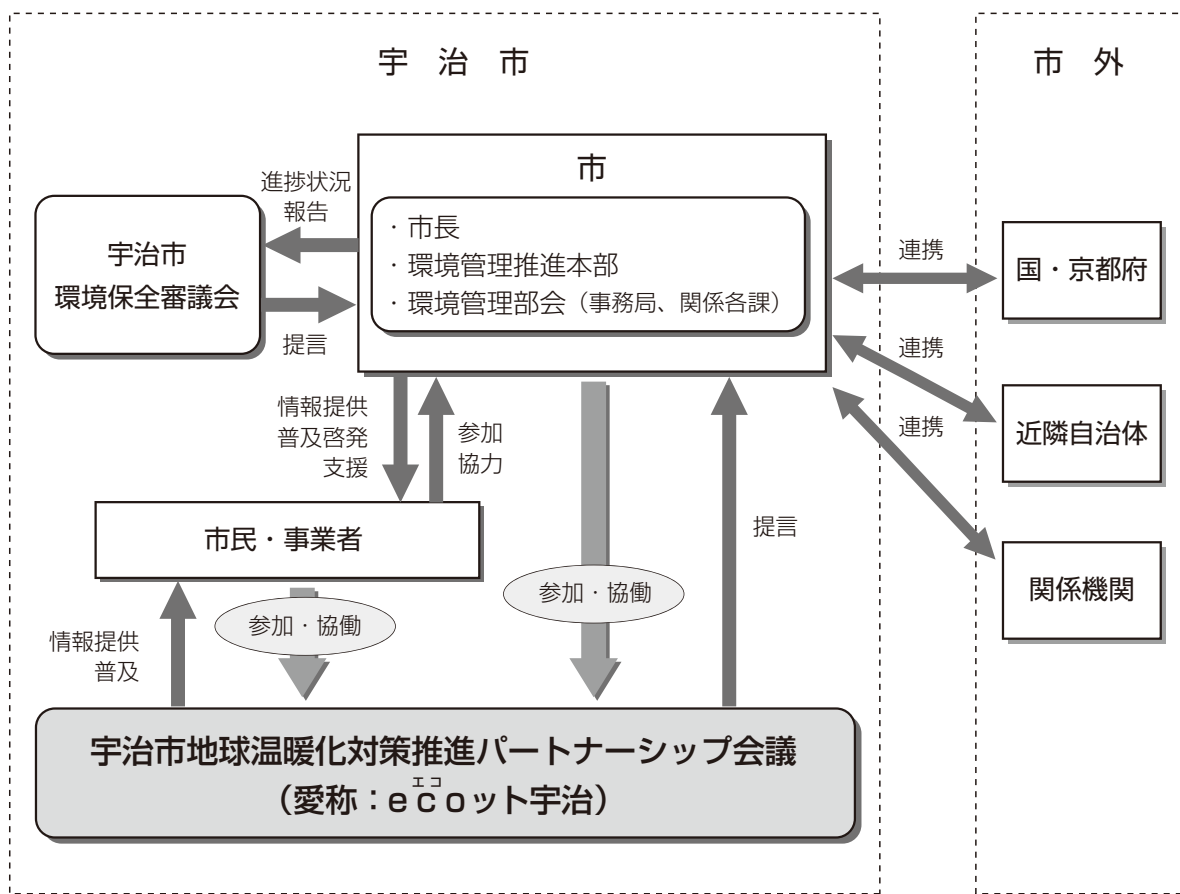


1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、市民・事業者・市が互いに連携し、取組みを進める必要があります。

このため、以下のような推進体制をとり、計画の効果的な推進を図ります。



■ 宇治市環境保全審議会

学識経験者、市議会議員、市民代表、関係行政機関などで構成され、広く環境の現状や環境施策の進捗状況などについて、公正かつ専門的な立場から審議するものです。

本計画において、施策の進捗状況や削減目標の達成状況を点検します。また、必要に応じてより効果的な対策を検討し、市へ提言します。

■ 宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議（愛称：e^{エコ}ット宇治）

市民・事業者・市など、すべての主体の参画組織であり、それぞれの参加・協働の場となるものです。

本計画に基づく具体的な取組みについて協議・企画し、中心となって本計画を推進するとともに、点検・見直しの進行管理を行います。また、市との協議が必要な事項などについて、市に対し提言します。

また、市民に対し、地球温暖化に関する分かりやすい情報を提供したり、日常生活における具体的な取組みを推進するためのさまざまな啓発活動を行います。

（次頁「e^{エコ}ット宇治ってこんなところ！」参照）

■ 市民

環境問題や地球温暖化問題に関心を持ち、本計画における具体的な取組みを実践するとともに、事業者や市との参加・協働を図ります。

■ 事業者

環境に配慮した事業活動を心がけ、本計画における具体的な取組みを実践するとともに、市民や市との参加・協働を図ります。

■ 市（市長・環境管理推進本部・環境管理部会）

本計画の推進にあたって、環境管理部会で関係各課の意見を調整した上で、年間計画を作成し、環境管理推進本部で承認します。本計画の見直しについては市長が行います。

また、施策の進捗状況を取りまとめて、宇治市環境保全審議会の開催に合わせて報告するとともに、市全体に公表します。

エコ eco ット宇治ってっこんなところ!



eco ット宇治は、分かりやすく、楽しくをモットーに、さまざまなイベント、啓発事業を企画し、地球温暖化防止の取組みを推進します。

ここでは、eco ット宇治の活動についてご紹介します!

家庭の省エネ相談所

毎月、市役所ロビーで「家庭の省エネ相談所」を開設しています。

ここでは、eco ット宇治のアドバイザーが、相談者のご家庭でのエネルギー使用量などをお聞きし、そこからCO₂排出状況を診断します。

診断結果をもとに、相談者のご家庭での的確な省エネ方法をアドバイスするため、より効果の高い省エネ*の実践に役立ちます。



家庭の省エネ相談所

環境にやさしいエコクッキング教室



生ごみ堆肥づくり

地域で採れた旬の野菜やお米を使った料理教室です。

素材を無駄にせず、ほとんどゴミを出さないうでおいしく食べる方法を楽しみながら学べます。

料理以外にも、残った野菜くずを生ごみ堆肥にする方法や、フードマイレージ*のお話など、「食」を通じていろいろなことを学べる教室となっています。



エコクッキング教室

『すすめ！^{エコ} ecott宇治』の作成

『すすめ！ ecott宇治』は、 ecott宇治が発行する広報誌です。

気軽に読める情報紙として、地球温暖化防止に役立つ情報を楽しく紹介したり、イベントのお知らせや活動報告などを行っています。



『すすめ！ ecott宇治』

..... 子ども環境学習会



自転車発電



子ども環境学習会

ecott宇治では次世代を担う子どもたちの教育や育成に力を入れていて、定期的に市内の小学校に出向き、学習会を開催しています。

ここでは、子どもたちが分かりやすいように、スクリーンなどを使って地球温暖化について説明しています。

また、地球温暖化に関するクイズやゲームをして遊んだり、自転車発電で体を動かして電気をおこしてみたり、楽しく学習できる工夫をしています。

ほかにも、こんなことをしています！

講習会を開いて緑のカーテン*の作り方を実演したり、その省エネ効果や雨水の利用についても紹介するなど、緑のカーテンの普及を進めています。

たくさんの市民の方々に省エネ*について知ってもらい、行動してもらうため「省エネ出前講座」を開催しています。

森の大切さを見直すきっかけとして、「森林ボランティア体験」や「どんぐりプロジェクト」を開催しています。

今後は、家庭における省エネ診断*の「実践版」や、緑のカーテンだけでなく庭木の植樹や生垣の設置をすすめ、公園や街路樹だけでなく家のまわりにも木陰をつくることで、ヒートアイランド*対策などに貢献したいと考えています。



2 計画の進行管理

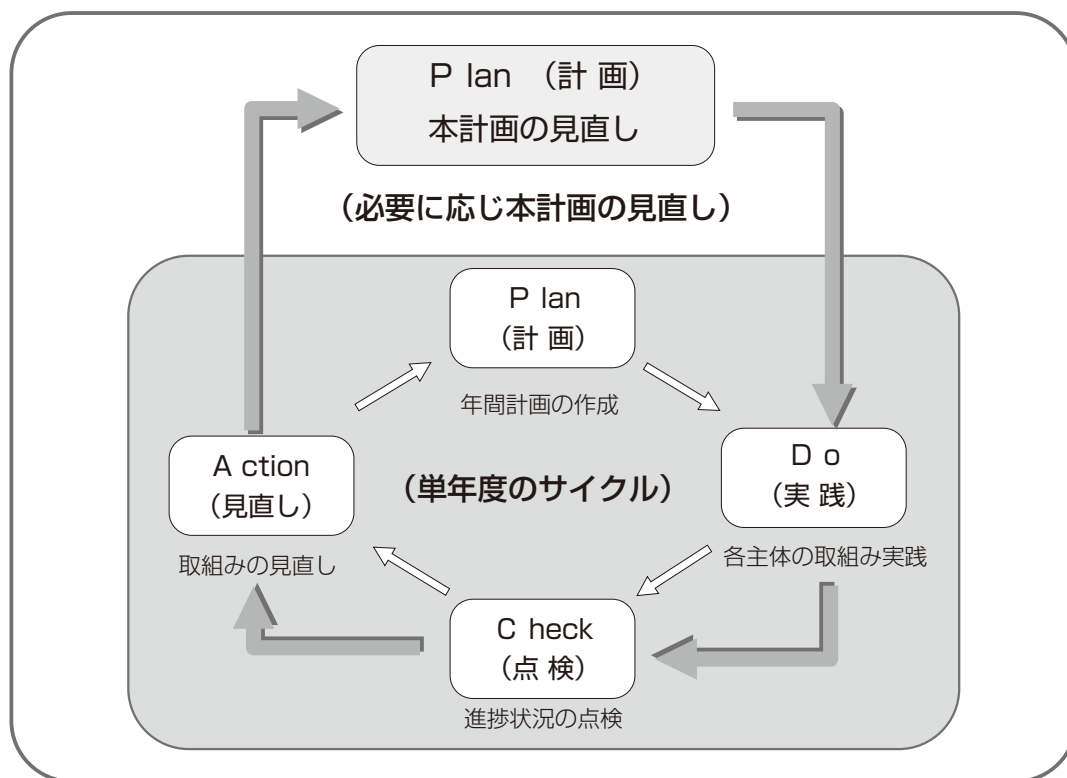
(1) 進行管理

本計画に示す施策の実行性を確保するためには、進捗状況を把握・管理し、広く市民に公表していくとともに、その効果を評価することが有効となります。また、必要に応じて見直しを行うなど、速やかな措置を講じることが重要です。

このことを踏まえて、本計画の進行は、環境マネジメントシステム*の基本的なサイクル（PDCAサイクル）に則った形で管理します。

本計画を効果的に推進するためには、国や京都府、近隣自治体などとの連携が必要であり、社会情勢の変化や方向性、新たな問題に対応し、計画内容を見直す必要があります。

このため、施策の進捗状況や削減目標の達成状況などについて毎年度点検、見直しを行い、次年度の取組みに反映するとともに、必要に応じて本計画の見直しを行います。



(2) 進捗状況の把握と公表

本計画を進めるにあたって、施策の進捗状況を把握するとともに、年度ごとに温室効果ガス排出状況を調査し、削減目標の達成状況を把握します。

その結果を、宇治市環境保全審議会の開催に合わせて報告するとともに、「宇治市政だより」や毎年度発行している「宇治市の環境」、パンフレット、ホームページなどで市民・事業者に広く公表します。